



2024年度 活動計画

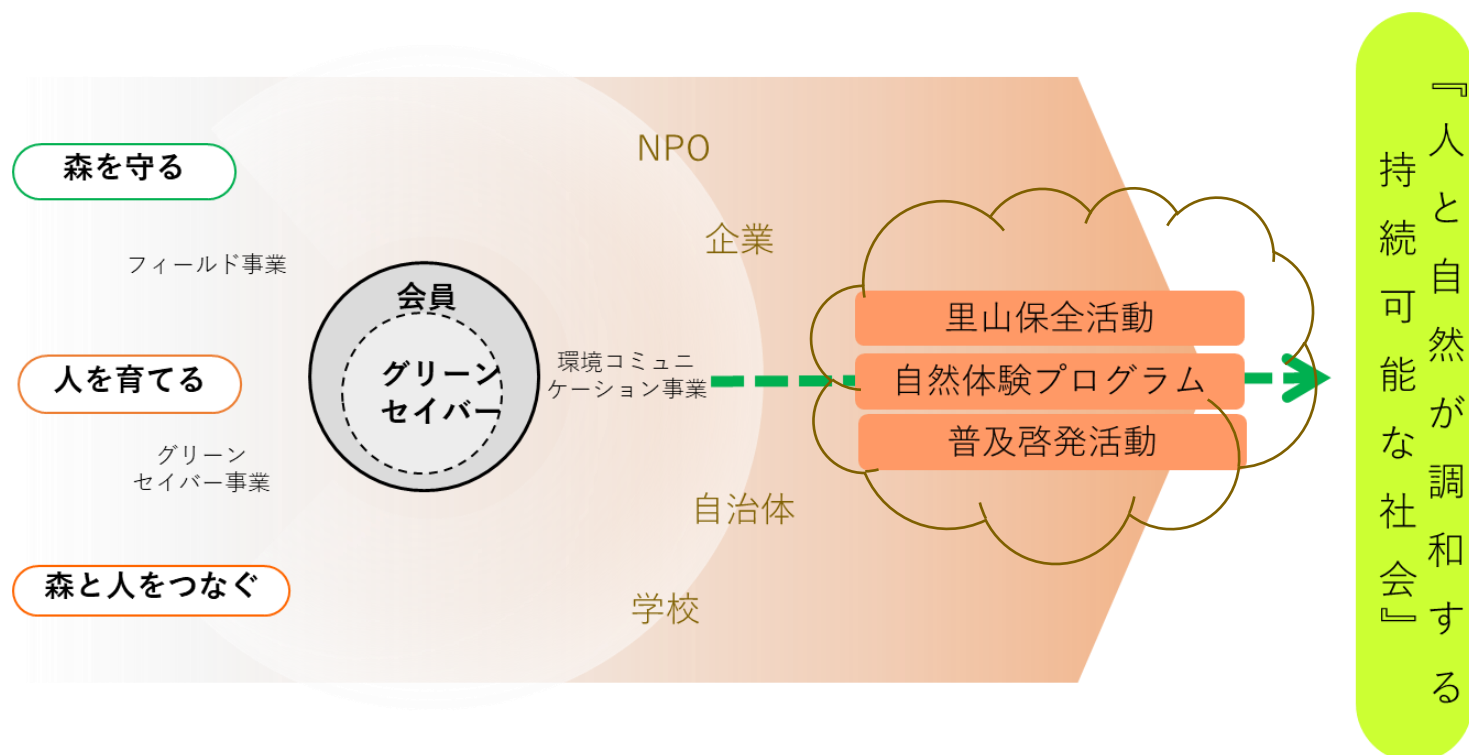
樹木・環境 ネットワーク協会



持続可能な社会へどうつながるか

活動の拡大とともに、緑や環境に関心のある人や組織が私たちの活動とつながり、広がっていくことがこれからも続くと考えられます。その時には、さまざまなリスクや課題も多くなってくると思われますが、それを一つ一つ克服し、さらに成長できるように努めたいと考えています。

どこを目指しているか、何を大切にしているかを忘れることなく、引き続き、私たちの活動がよくわかるように発信することが大事だと考えます。知ってもらうことを出発点とし、多くの人に参加してもらい、ゆくゆくは持続可能な社会にどうしたら近づけるかを一緒に考え、つくり上げていくことを目指していきます。





森を守る



継続的な森林保全活動

30by30（自然共生サイト）、TNFD、ネイチャーポジティブなど、自然環境、特に生物多様性の保全に向けた取り組みへの関心が高まっています。保全活動はまさにその最先端の活動であり、継続的な活動が望まれています。まだ、24年度は、兵庫県、東京都での新しい活動がスタートします。

2024年度 フィールド

01. 町田 三輪里山
02. 多摩動物公園雑木林 TAMAZO
03. 武蔵野の森から学ぼう
04. 千葉おぐらの森
05. 嵐山ふれあいの森
06. ニ宮蜜柑倶楽部
07. ハケ岳ワーキング
08. 交野・森フィールド
09. レッツ久宝探検隊
10. 和歌山ワーキング
11. 本町田宿ふるさとの森
12. 奄山ふれあいの森
13. 清泉女子大学の森

協働の森林保全あk集う

嵐山TCLの森

UNISOLの森

フィールド活動の活性化

里山の恵みを使う・楽しむ

里山は従来、人の利用により豊かな環境が保たれてきました。整備・保全活動では、除草や伐採により、里山で行われてきた整備を進めつつ、自然の利活用の取り組みも行っていきます。

地域に開かれた里山活動

従来より誰でも参加できる活動として間口を広げています。三輪里山、本町田宿ふるさとの森、レッツ久宝探検隊、和歌山フィールドでは、地域参加の活動も増えてきました。近隣との関係を大切にしつつ、地域のコミュニティ醸成にもつながるフィールドになるよう、柔軟な受け入れを行っています。

人材育成の場として

フィールド活動の人材育成を目指し、技術的な講座としてスタートした里山林塾は8年目を迎えました。里山林塾では、技術的な講座・研修だけでなく、個人が里山でやりたいことを実現できる場をつくり、耕作放棄地の開墾と農作業、はちみつづくりの養蜂、外来種の駆除とジビエなど、里山の整備と利活用を活発に提案・実践しています。



ネイチャーポジティブ

企業や行政から、環境に関してのさまざまな相談を受けるようになってきました。世間が環境に関心を高めていることを実感する機会も増えていきます。ネイチャーポジティブという考え方が拡大を見せる一方で、SDGsウォッシュということも出てくる可能性があります。私たちの活動を通じて、社会がきちんとネイチャーポジティブに向いていくように見極め、提案や支援を行ってまいります。



グリーンセイバー (GS) の活動の拡大

GSの活動の広がり

従来のグリーンセイバーが運営・実施する一般向けの観察会や講座を行うGS企画や、内部研修的なGS研修のほかに、さまざまな自主的な活動が立ち上がり、開始されています。

フィールドでの生物調査活動、山歩きを通して自然を知る山登りクラブ、子ども向けのGSキッズなどの活動が進みつつありますが、引き続き新しい活動を促進していきます。

また、これらの活動をSNSやメルマガなどを通して仲間を募り、こうした活動の輪を広げていきます。

グリーンセイバー資格検定

グリーンセイバー資格検定

ネイチャー&カルチャー試験のCBT方式を継続

全国どこからでも受検できるように、2023年度から開始したCBT試験方式（全国の受験会場からパソコンを使って受験する方式）を、2024年度も引き続き実施します。

受検者数増加を目指して、受検できる期間を2週間に拡大し、その期間中、いずれの時間帯も選べるようにしました。受検したい人の選択肢が広がることによる効果に期待しています。

また、ホームページやSNSを使って、グリーンセイバー検定のことを周知する広報の取組も強化することにしました。興味を持っている人に届くような情報発信を強化していきます。

GSの事業への参画

協会の多くの他の事業において、さらにグリーンセイバーのみなさんの参画を促進していきます。グリーンセイバーとしての知識を活かす場としての意義だけでなく、新たな課題解決に取り組むことによる全体のスキルアップ、新しい発想やアイデアの源泉としても重要な機会となります。





協働事業の拡大と推進

法人・企業との協働活動

企業が事業との関連を強めながら生物多様性保全の活動を検討する機会も増えています。そうした企業に対し、活動の提案や受入を行い、自然環境と社会との関係性を創出する機会をつくります。

学校との環境教育

自然に触れる時間は、子どもたちへの心と体の成長に欠かせないものです。各地の小中学校での環境学習の協力とフィールドを活かした体験学習を引き続き提案していきます。

自治体・行政との協力事業

海の森公園

東京都の進める海の森プロジェクト、今年度は、海の森公園ボランティアのコーディネートを継続的に受託しています。グランドオープン（令和7年3月）を目指し、普及のためのイベントや森づくりを通じた環境教育活動も盛んにおこなわれています。

24年度は、「海の森子どもレンジャー」の委託を受け、子どもが主体となり、自然の調査、環境づくりを行う活動を推進していきます。

海の森関連事業（東京都委託事業）

- ・海の森公園ボランティア コーディネート
- ・海の森子どもレンジャー 育成・運営

まちだみどり活用ネットワーク

まちだの“みどり”を活用した官民連携活動「まちだみどり活用ネットワーク」のバッグオフィス業務を受託し、町田市内のみどりにかかわる活動の連携・活性化に向けた取り組みを推進しています。設立より2年目を迎え、今年度はシンポジウムの開催を提案し、実施する予定です。町田市のイベントへの出展も予定しており、新たな仲間づくりにチャレンジします。

今年度の活動計画

- ・市内の関連団体と連携した地域イベントの開催
- ・市内のみどりのネットワークを活かし拡大するプログラムの実施
- ・ネットワークの拡大に向けたシンポジウムの開催
- ・やりたいと実現するためのワークショップの開催



活動の推進

全国の活動を支援

ここ数年、関西エリアでCSR活動の依頼が増え、兵庫県立宝塚西谷の森公園内「ユニソルの森」での活動もスタートしました。新たな企業の森である「ユニソルの森」では、森づくりと環境活動の支援を行うために、月1回、経験豊かなグリーンセイバーが東京から出張し、指導にあたることになっています。このような関東圏以外のエリアでのプロジェクト支援は今後も増えていくことが予想されるため、「ユニソルの森」活動を通して蓄積されたノウハウを活用できるよう、体制を整えていきたいと考えています。

各地のGSとの交流

ネイチャー・カルチャー検定にCBT方式を導入したことにより、全国で受検が可能になり、これまでグリーンセイバーがいなかった地域にもGSが誕生しました。各地のGSと交流をはかり、その活動を支援しながら信頼関係を築くことは、そのエリアでCSR活動やプロジェクトの依頼があったときに協力が得られる人材の確保という意味でも重要になってくると考えられます。同時に各地のGSやその活動、関係者同士のネットワークもますます必要になってくると思われるため、そのための働きかけやSNSを活用したコミュニティづくりなどに取り組むたいと考えています。



広報・情報共有

聚レターの見直し

168号のトラブルをきっかけに聚レターの制作体制や制作プロセス、スケジュールなどを見直した結果、これまで年4回、各16ページで発行していた聚レターを、今年度より年3回、各20ページに変更することにしました。この変更には、昨今の印刷費、郵送費の高騰、予算への圧迫の軽減という目的も含まれています。今後も、今回のような不手際が再発しないよう、またより有意義な情報をお届けできるよう努力してまいりますので、ご理解、ご協力のほど、お願いいたします。

SNSの強化

これまでもHP、会報誌、メルマガ、SNS等を使い分けながら、様々な情報をお届けしてきましたが、戦略的な情報発信のために、SNSのより効果的な活用を重点目標とすることにしました。特にこれまで使っていなかったInstagramは、女性や若い世代へのアピールに不可欠であるご提案いただき、関西聚のアカウントと協会のアカウントを開設することになりました。フィールドや活動の魅力をアピールするとともに、GS検定の受検者拡大を目的としたSNSでの広告出稿も実施。不特定多数の方にプッシュ型で情報をお届けするチャンスを拡大します。

事務局運営

スタッフの拡充

コロナ禍からの復調、SDGsやカーボンニュートラルへの関心の高まりなどを背景に、企業や教育機関、自治体などからの事業依頼が増えています。単発のイベントやプロジェクトだけでなく、継続的なプロジェクトの運営を担う事務局機能や指定管理も視野に入れた参画が必要となる事例も増えており、スタッフの過剰な負担が課題となってきました。そこで新たなスタッフの採用、スタッフの事情に応じたワークスタイルの整備などを早急に検討、実施し、スムーズな事務局運営と健全な労働環境の両立を目指します。

また、担当業務や働き方の多様化、業務量の増加は事務局内のコミュニケーション不足を招き、トラブルの一因となったと考えられるため、定期的なミーティングの実施を徹底し、情報共有、業務負担の分散に努めます。



2024年度 予算計画

◆収入の部

項目	2023年度実績	2024年度予算	主な活動
会費(計)	¥2,925,000	¥3,000,000	
正会員	2,885,000	2,950,000	個人、家族、法人、団体
準会員	40,000	50,000	賛助、ユース
寄付	¥8,840,301	¥2,500,000	個人、あすのはね、キボウノカケハシ等
事業(計)	¥26,121,227	¥38,600,000	
内訳) グリーンセイバー事業	1,488,411	2,500,000	検定、セミナー、過去問・テキスト販売、GS企画
内訳) フィールド事業	4,671,018	9,100,000	フィールド活動委託、法人・団体等の活動受け入れ
内訳) 環境コミュニケーション事業	5,925,668	7,000,000	法人・団体との協働活動やコーディネート
内訳) 行政委託関連	14,036,130	20,000,000	行政委託事業、指定管理関連
その他収益	¥150,062	¥100,000	事業外助成金、その他
収入の部 合計	¥38,036,590	¥44,300,000	

◆支出の部 (固定費を含む)

項目	2023年度実績	2024年度予算	主な活動
総務・管理	¥4,159,768	¥4,200,000	固定費、会員管理、日常業務 等
広報	¥3,230,658	¥4,000,000	会報誌・ホームページの作成と運営
事業支出(計)	¥24,068,532	¥34,800,000	
内訳) グリーンセイバー事業	1,752,977	2,500,000	検定、セミナー、見直し検討 等
内訳) フィールド事業	4,819,445	8,300,000	フィールド活動推進、法人・団体との活動経費
内訳) 環境コミュニケーション事業	4,658,913	6,000,000	行法人・団体との協働活動やコーディネート
内訳) 行政委託関連	12,837,197	18,000,000	行政委託事業、指定管理関連
法人税・住民税・事業税	¥150,000	¥150,000	法人税、住民税、事業税 等
支出の部 合計	¥31,608,958	¥43,150,000	

◆固定費 (支出に含まれる)

人件費・通勤費・福利	13,683,920	19,600,000	事務局、アルバイト人件費、社会保険および通勤費
地代家賃	1,953,600	1,953,600	東京事務局ビル
光熱費・リース代 他	1,364,027	1,950,000	水道光熱費、リース代、保険代
労災保険	127,942	150,000	
租税公課・法人税・事業税	964,857	950,000	消費税ほか
固定費合計	¥18,094,346	24,603,600	

前期正味財産	¥12,355,262	¥18,782,894	
当期正味財産増減額	¥6,427,632	¥1,150,000	
正味財産合計	¥18,782,894	¥19,932,894	

- ・海の森公園関連事業の拡大に伴い、人員の増員を含め、事業の展開を目指す
- ・まちだみどり活用ネットワーク関連事業の継続
- ・環境コミュニケーション事業、フィールド事業の活動の拡大と推進
- ・グリーンセイバー資格検定は受験者獲得を目指して広報等を拡大

【顧問】山本 光二	樹医
【顧問】澁澤 寿一	前理事長
【理事長】清水 善和	駒澤大学総合教育研究部元教授
【専務理事】佐藤（中西）由美子	グリーンセイバー・マスター
【理事】小久保 広宣	関西聚スタッフ
【理事】築野 敬二郎	株式会社アテナ 執行役員
【理事】岡本 俊彦	グリーンセイバー・マスター
【理事】片山 雅男	神戸教育短期大学児童教育学科元教授
【理事】川端 自人	グリーンセイバー・マスター
【理事】小林 健人	NPOフュージョン長池 理事
【理事】後藤 洋一	事務局長
【理事】塚本 秀貴	グリーンセイバー・マスター
【理事】広瀬 攻	三輪里山フィールドリーダー
【理事】松浦 晃	株式会社 つくば林業
【監事】三尾 隆志	公認会計士
【監事】吉田 寛	公認会計士 公会計研究所 代表

【事務局スタッフ】

専務理事	中西 由美子
理事・事務局長	後藤 洋一
スタッフ（東京）	石崎 庸子
スタッフ（東京）	加藤 武
スタッフ（東京）	中西 規章
スタッフ（東京）	大西 智野子
スタッフ（東京）	小口 純子
スタッフ（東京）	松尾 茉里子
スタッフ（東京）	田島 泰子
スタッフ（大阪）	山本 睦子







団体概要

【組織】

団体正式名称 特定非営利活動法人樹木・環境ネットワーク協会
設立 1995年9月19日
ホームページ <https://www.shu.or.jp/>

○東京事務局

[住所] 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-6
日本分譲住宅会館ビル8階南
[Tel] 03-5244-5447 [Fax] 03-5244-5448
[Mail] info@shu.or.jp

○大阪事務局

[住所] 〒576-0033 大阪府交野市私市5丁目17番11号
[Tel] 072-893-1716 [Fax] 072-892-3247
[Mail] kansai.syu1@nifty.com
[HP] <http://kansaisyu.o.oo7.jp/index.html>